５　牛の腹腔内腫瘤（グラム陽性菌による肉芽腫性炎）

機　関　名： 豊橋市食肉衛生検査所　　氏　名： 菅　麻美子
動　物　名： 牛　　品種： 交雑種　　性別： 去勢　　年齢： 21ヶ月
病　　歴 ： 食欲不振
生 体 所 見 ： 特になし

内 臓 所 見 ：
右側腸骨リンパ節部に14×22×13ｃｍのラグビーボール状の白色腫瘤を認めた。腫瘤の表面は厚い結合織性の被膜に覆われ、直径４～５ｃｍで１ｃｍ程隆起した部位が５ヶ所みられた。割面は乳白色充実性で黄色顆粒状物が密在し、一部に石灰化を認めた。腫瘤の頭端、尾端部には乳白色充実性の組織に付着する淡赤色の組織がみられた。両組織の境界は明瞭であった。他の臓器、リンパ節に同様の病変は認めなかった。

組 織 所 見 ：
乳白色充実性組織は主に膠原線維で構成され、組織全体に好酸性のアステロイド体が散在していた。アステロイド体を中心に好中球、好酸球、リンパ球が取り囲み、その周囲に多核巨細胞、類上皮細胞が集簇していた。多核巨細胞の一部に貪食像を認めた。さらにこれらを、形質細胞、線維芽細胞、膠原線維が取り囲んでいた。淡赤色の組織では、リンパ小節、梁柱などリンパ性組織を認めた。また、乳白色充実性組織との境界部は膠原線維が高度に浸潤していた。
組織のグラム染色においてアステロイド体の中心部にグラム陽性菌を認めた。

固 定 方 法 ： 10%中性緩衝ホルマリン

行 政 処 分 ：一部廃棄

組織診断名：グラム陽性菌による肉芽腫性炎

疾病診断名：グラム陽性菌による肉芽腫性炎